

# 更級農業高校

## JRC部

高校生ボランティア・アワード2022

私たちJRC部は、地域の困りごとを解決したい！そんな思いから活動を進めてきました。私たちの住む地域は、緑あふれる自然豊かな場所ですが、美しいだけではありません。例えば、長年放置され荒廃竹林です。竹は根が浅く、土砂崩れを起こす危険性があります。また動物の住みかとなり畑や庭を荒らすなど、多くの問題を抱えています。現在、高齢化や人口減少などで、地域で解決できない問題も起きています。そこで私たちは、農業高校生ならではの発想を生かし、地域の中で活動を行っています。

### 活動内容1

私たちの住んでいる地域には、荒廃した放置竹林がたくさんあります。近年そのことで、有害鳥獣の住処になったり、倒れた竹が道路をふさぎ、景観を損ねてしまうことや、土砂崩れの危険などの問題が起きていました。そこで、地域住民の方々と竹林整備をしました。竹は乳酸菌を多く含むことが分かり、伐採した竹は、土壌改良剤として利用することを考えました。また、竹粉には、植物の果実肥大や糖度を上げる効果があるといわれていることから更なる活用が期待されています。



### 活動内容2

私たちの住む地域には、日本で最も長い千曲川が流れています。千曲川の河川敷には多くのカヤが生えており、何年も放置・堆積したカヤが原因で川の増水や氾濫などの問題も起きています。そこで、私たちはそのカヤを刈り取り簾を編みました。簾は、台風19号の被災した方々の住む仮設住宅や近隣の施設にも寄付しました。特に仮設住宅は、直射日光により夏はとて暑くなります。簾は、直射日光を防ぐことができるととても喜んで頂きました。



更級農業高校の  
マスコットキャラクター  
のこうたくだよ！



### 活動の成果

#### 活動成果 1

地域の方とともに伐採した竹をパウダーにし、さまざまな種類の野菜を使って効果を確認するための栽培・調査を行いました。また、私たちの活動が新聞などで取り上げられたことで、地元企業も注目してくれ、共同研究をすることとなりました。

#### 活動成果 2

簾は、学校や施設に設置しエアコンの使用量を減らすことができました。また、陸上部から使用しなくなったハードルをもらい、編み機を手作りしたことから生産効率を上げることができました。

### 私たちの今までの活動

- 2018年～ 子ども食堂(切り干し大根の提供)  
(昔の遊び交流)
- 2020年～ 台風19号被災地ボランティア  
竹林整備と竹の活用  
竹粉の土壌改良剤としての研究、調査  
伝統野菜 小森ナスの栽培と普及活動
- 2021年～ 台風19号被災地でカフェイベント開催  
災害用簡易トイレ作り(研修用として500個)  
簾(すだれ)の製作開始  
シトラスリボンプロジェクト(駅に作品展示)  
みつろうラップ作り
- 2022年～ 竹林整備と竹利用part2  
竹箸作り  
竹炭・竹灰食器洗い用洗剤の開発



### 活動予定

今年度は、長野県環境政策課や環境保全研究所、企業とも連携を行い以下の活動をおこなっていきます。

- 1つ目は、竹パウダーを使って長野県の伝統野菜である小森ナスを栽培し、その小森ナスを使って作る郷土料理のおやき開発を考えています。
- 2つ目は、竹のさらなる活用方法として地域の中にある子供食堂で、放置竹林の竹を使用した箸の製作を子供たちと行う活動です。その活動を通して物作りの大切さや楽しさを感じてもらいたいと考えています。
- 3つ目は、竹を使った農作業用椅子の作成です。作成した椅子は農業を行っている高齢の方々に配布することを考えています。
- 4つ目に、放置竹林の活用として竹炭・竹灰から食器洗い用洗剤の開発にも力を入れています。今後は、子供食堂や高齢者施設などに使ってもらい普及させていきたいです。

このような活動から自分達の身の周りや地域での困りごとに気づき考えるきっかけにしていきたいです。私達は地域のじゃまものだと思われていたものを地域の資源ととらえ、体や環境にやさしいものを提案し広めていきたいと考えています。

